

(一社)天竜建設業協会 浜松市天竜区二俣町鹿島491-5 ☎(053)926-1562 FAX(053)925-6468
電子メールアドレス jimutyo@tenkenkyo.net ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>
編集・発行 広報委員会 題字 長谷川智彦



ロープ高所作業に係る特別教育講習会

写真は、ロープ高所作業に係る特別教育実技講習の様子(天竜区青谷土砂処理場)です。

ライト工業の小谷・河口両講師からは、過去に体験した苦い事故も紹介いただきながら、一人ひとり丁寧にロープの結び方の基本(巻き結び・モヤイ結び)と、メインロープ・ライフラインの扱い方等を教えていただき、全員がカリキュラムを消化、修了証の交付を受けました。

CONTENTS

協会ダイジェスト	2
アイコンストラクションとは	4
山のシーフード	5
ちょっとおすすめグルメ／かんとくさん	6
建設ギャラリー／平成28年度受賞者	7
マイファミリー／コーヒーブレイク	8

上期

協会のダイジェスト

定時総会の開催

H 28・29の新役員を選任

5月24日、平成28年度の第一回定時総会を開催し、平成27年度の事業及び決算について審議した結果、原案どおり承認された。

また、任期満了による理事・監事の選任が行われた結果、黒川理事が退任し、後任理事に大石現監事が就任、新監事には、飯島雄一氏が就任した。会長・副会長は、理事の互選の結果、長谷川会長、西村副会長、今場副会長が再任された。

平成28・29 協会役員等

会長 長谷川智彦
副会長 西村正則・今場嘉寿
理事 村松敏彦・清水 充
大石富男
監事 吉田正一・飯島雄一(新)
総務・企画委員長 今場嘉寿
企画青年委員長 柏崎圭亮
広報委員長 清水 充
労務委員長 吉田正一
土木委員長 大石富男
建築委員長 吉田正一
環境・災害対策委員長 村松敏彦

行政機関(県・市)との意見交換会開催

災害時の応援要請順位の検討を要望



県・市行政との意見交換会

4月から6月にかけて、県西部農林事務所天竜農林局、浜松市森林事務所、県浜松土木事務所、浜松市土木部の幹部職員と、協会役員との意見交換会を実施した。

協会からは、発注・入札・積算・変更契約等に関する意見・要望を伝えるとともに、4月に発生した熊本地震を教訓に、災害時の応援要請に係る県・市行政側の横の連携と優先順位付けを要望した。



ロープ高所作業に係る特別教育講習会の開催

自らの命は自ら守る!

6月14日と21日の二日間にわたり、協会と防災防静岡支部天竜分会は共催で、ロープ高所作業に係る特別教育講習会を開催した。

労働安全衛生規則が一部改正され、「ロープ高所作業」を行う場合、ライフライン設置、作業計画の策定、特別教育の実施などが新たに義務づけられ、特別教育が本年7月1日に施行されることを受けて実施した。



青谷土砂処理場でのロープ実技講習

のり面保護工事などでのロープ高所作業に従事することが多い当会員等にとっては、自らの命に直結する

重要な技術習得であり、初日59人、二日目57人の合計116人が熱心に受講した。

講師にはライト工業株式会社様から、インストラクターの資格を持つ経験豊富な小谷氏、河口氏を派遣いただいた。

実技は青谷の土砂処理場で行い、実際に2メートル以上の斜面を利用して実施した。

安全祈願祭・安全大会・安全衛生管理計画研修会開催

今年度の無事故・無災害を誓う

7月5日、協会と防災防静岡支部天竜分会は、来賓・会員51名の出席のもと、秋葉神社上社において平成28年度安全祈願祭・安全大会及び安全講習会を開催した。

来賓として、静岡県から杉本浜松土木事務所長・鈴木天竜支局長、関部西部農林事務所天竜農林局長、浜松市から白柳天竜土木整備事務所長、坂本森林事務所長が出席、祝辞を頂戴した。

安全大会では、長谷川天竜分会会長が、リスク管理を徹底し無事故・無災害、特に死亡事故は絶対に出さないよう呼び掛けた。

続いて表彰式を行い、優良事業所として、(株)石川組、(株)正久工業、

大石建設(株)の三社を表彰、安全標語の優秀者として片桐一樹氏、金田康秀氏、太田一成氏の三氏を表彰した。

この後、経験豊富なアキヤマの大嶋部長を講師に招いて、安全衛生管理計画研修会を開催し、リスクアセスメントの手法や安全衛生管理計画の作成・活用等について学んだ。



安全衛生管理計画研修会

天竜区内の

危険箇所調査の実施

県浜松土木事務所 報告

平成28年1月に、県浜松土木事務所天竜支局から当協会に、災害時に備えた危険箇所調査の協力依頼があり、企画青年委員会のメンバーが4月5月にかけて調査を実施した。



徒歩による災害危険箇所調査

調査は、①天竜・龍山、②春野、③佐久間、④水窪の四班で調査班を編成し、被災を受けやすい危険箇所等139箇所を、主に徒歩で調査した。

調査結果は、河川ごとに整理し、6月に県浜松土木事務所天竜支局に報告した。

今後はこの調査結果を基に、行政との連携を密にして、被災時の迅速な応急復旧に役立てていく。

夏休み親子現場見学会の開催

高さ13mの防潮堤を見学

8月5日、天竜区内の小学4～6年生と保護者を対象に、県と市が浜松市沿岸域で進めている防潮堤建設

工事の現場見学会を開催した。

当日は37名が参加し、浜松市天竜区阿蔵の防潮堤用土砂採取現場を見学した後、防潮堤建設工事現場を見学し、完成した高さ13mの防潮堤の上を実際に歩いて、高さの強さを実感するとともに、CSG材料(土・セメント・砂利の配合)製造プラントを見学した。

参加者は、県浜松土木事務所の徳増副班長から、防潮堤は浸水面積を約7割軽減する大きな減災効果があるが、津波到達時間を遅らせる間に、いかに早く避難し自分の命を守るかを考えることが重要であることを学んだ。



阿蔵の防潮堤土砂採取現場

新任非常勤職員紹介

氏名 片田 眞奈美
採用 6月23日
担当 建築防・技師会ほか

最近のキーワード

「i-Construction」

建設現場の生産性向上を目的に国土交通省は、「i-Construction」を2016年度から本格化させている。施策の柱は「ICT技術の全面的な活用(ICT土工)」「コンクリート工の規格の標準化」「発注時期の平準化」の3点だ。

ICT土工は、ドローンなどによる写真測量で得た3次元データとICT建機を使って自動制御で施工すること。調査・測量、設計、施工から検査、維持管理・更新に至るまで3次元データを一貫して適用し、「通常の土工」に比べ安全かつ正確に効率性、生産性を高めることが狙いだ。

すでに本年度、直轄事業で約530件のICT土工を発注することが決まっており、このうち中部地方整備局管内は82件、静岡県内は20件が対象となっている。また、静岡県交通基盤部もICT土工の対象工事として86件を抽出し、発注することが決まっている。17年度には浚渫工がICTの対象になると見られており、橋梁や舗装の分野まで広がることも予想されている。こうした流れに適応するための体制、設備を整えるとともに、対応できる技術者、技能労働者の育成が急務といえるだろう。

～建設現場の生産性向上の取組～

(アイ・コンストラクション)

i-Constructionとは?

—— 最近話題の土木用語について、県技術管理課からご紹介します。 ——

目的は生産性の向上

現在、建設現場で働いている技能労働者の3分の1にあたる約110万人が、高齢化によって今後10年で離職すると言われています。

建設現場はベテラン技術者の知恵と経験と熟練技術で支えられており、この急激な減少は深刻な問題であることから、国土交通省は平成28年度を「生産性革命元年」と位置付け、建設生産プロセスにおいて、抜本的に生産性を向上する「i-Construction」に取り組み始めています。

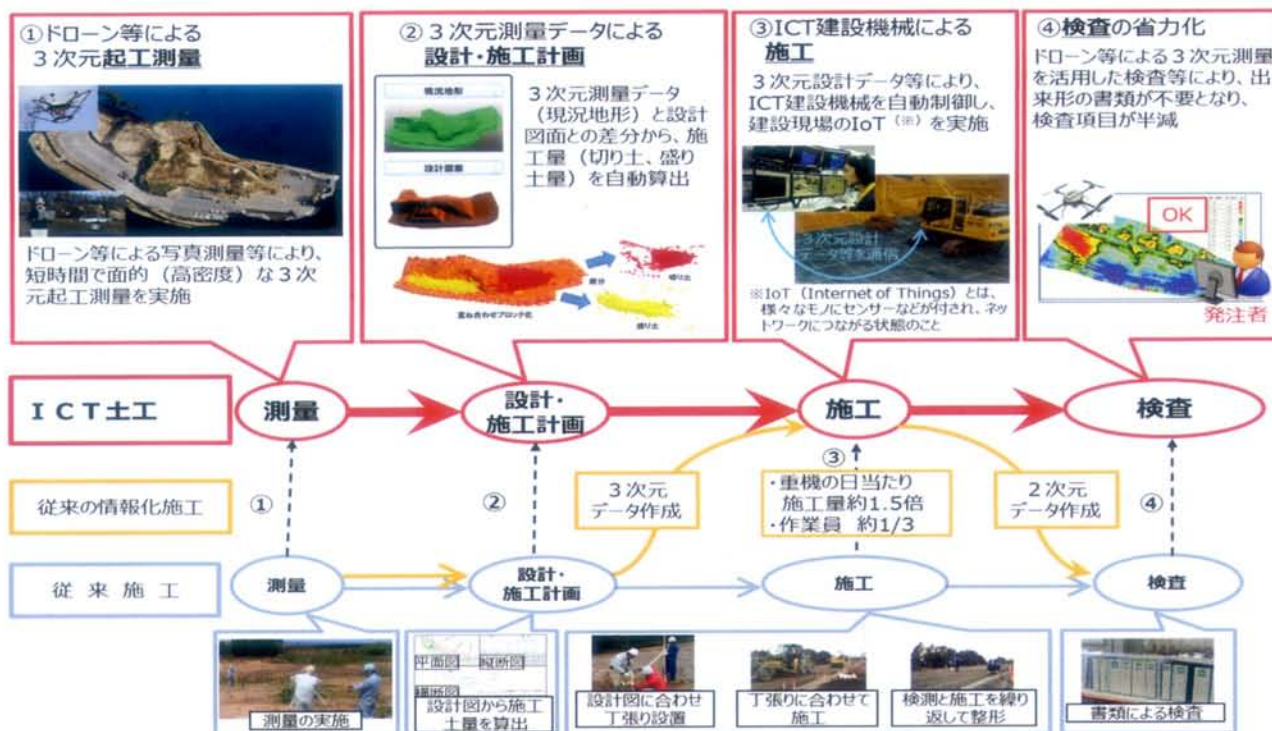
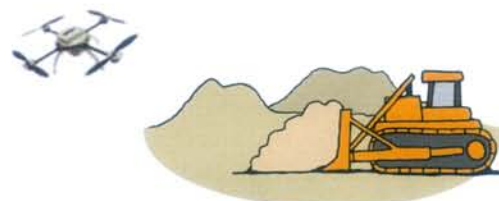
3つのトップランナー施策

- ①「ICTの全面的な活用（ICT土工）」
- ②「全体最適の導入（コンクリート工の規格の標準化）」
- ③「施工時期の平準化」

静岡県では、このうち「施工時期の平準化」と合わせ、「ICT土工」を推進しています。

静岡県における取組

- ①県では、平成28～29年度を受発注者がICT土工に慣れるための試行期間とし、「静岡県試行方針」により導入を図ります。
- ②試行期間中は、ICT活用工事を実施する受発注者へのヒアリングや、県内の建設関連業界へのアンケート調査等により現場の声を抽出することで、試行方針を随時見直すこととしています。
- ③（一社）施工技術総合研究所等の協力を得て、「情報化施工推進ワーキンググループ」を設置し、ICT土工実施の支援や課題抽出、問題解決等を行います。





「がんばらまいか佐久間」河村事務局長の説明を聞く委員。小さい水槽が15基あります。

「佐久間の旬な話題を」
M広報委員が報告！
佐久間町において、昨年から「アワビ」の養殖に取り組んでいるという事で、去る八月某日、広報委員で取材に行ってきました。
当日は、養殖に取り組んでおられるNPO法人「がんばらまいか佐久間」の河村事務局長にお話をうかがいました。



山間地でのアワビ養殖と雇用確保

そもそも「アワビ」を始めた理由は、浜松市職員の北嶋氏の発案で、山間地で「アワビ」の稚貝から出荷までの養殖を商業化し、山間地での雇用を確保しようという事です。



養殖中の稚貝。まだアサリ貝くらい小さくてかわいいです。

昨年度から浜松市の補助をもらい、浜松市、NPO「がんばらまいか佐久間」、静岡大学等のメンバーによる「仕事作り研究会」指導の下、空き家となっていた旧佐久間町給食センターを利用し、河村事務局長をはじめとするスタッフの皆さんが養殖を試行しています。



大きめの水槽で養殖中
ここでは焼津の深層水を試行しています。

3年後の出荷を目指し 試行錯誤

山間部での養殖はまだまだ手探りの状態で、様々な問題に直面しています。養殖する水槽の水温、塩分濃度、PH、その他水質の管理や、水槽の大きさ、入れるアワビの数、えさの種類、分量等まだまだ試行錯誤が始まったばかりのようです。「死んだアワビを取り出すときは本当に悲しい気持ちになりますよ」といわれた言葉にアワビに対する思い入れを感じました。
現在飼育しているのは800匹程ということですが、出荷の目安となる3年後にはもっと数を増やし、商業ベースの一万匹を目指すということです。



現在養殖している中では大きめの「アワビ」そろそろ出荷可能な大きさになります。

目標は山間地の活性化

養殖の方法が確立した暁には、
①今の基地を中心とし、各家庭で育てたアワビを集荷、出荷する方法
②地域企業の参入により、規模を大きくし養殖する方法、など様々な流通を想定し、地域の活性化に寄与したいということです。
浜松市の山間部では、春野町のジビエ活用など様々な取り組みがあるということですが、山間地の活性化という目標に向けた参加スタッフ皆さんの熱意と努力がなければ成り立たない事業だと感じました。

ちよつと

おすすめグルメ

広報委員
森吉組 株 吉田 巧

◆辻亭◆

純和風の門を潜ると美しい庭園が広がり、隅々まで手入れの行き届いた建物に、御主人のおもてなしの気持ちが届きます。お店は、隠れ家的で落ち着いた雰囲気があり、知る人ぞ知る料亭です。

料理にも、一品一品に手間と技術が垣間見え、冷えたお酒との相性が抜群です。鰻、天婦羅、お刺身、焼き魚、どの料理を取っても絶品ですが、鰻重はお頭付きで、柔らかく、油がのつていてスタミナ満点です。

お店の御主人は、浜松調理菓子専門学校（日本料理の講師を長年務めており、その包丁捌きや技術には、目を見張るものがあり、見た目にも料理を楽しませてくれます。料亭と言うと敷居が高いイメージがありますが、お昼のランチは2500円からありとてもリーズナブルで、四季折々の料理が楽しめます。

大広間や個室もある為、小さい子供がいても安心です。予約して行くことをお勧めします。

〒434-0002
静岡県浜松市浜北区尾野302-16
電話番号 053-158910111

知る人ぞ知る
「辻亭」の懐石料理



中庭から
玄関を望む

セーフティネット事業

天竜建設事業協同組合では、（一財）建設業振興基金が実施する「下請セーフティネット債務保証事業」を導入しています。是非ご活用ください。

◆最近の利用実績

H23	12件	125,640千円
H24	20件	162,020千円
H25	14件	178,960千円
H26	26件	257,120千円
H27	17件	193,790千円

ご利用の際は、事務局までお問い合わせください。詳細をお知らせします。

今後の主な行事予定

9/29・30	建災防全国大会（名古屋）
10/ 5	第33回技術発表会
10/ 7	合同安全パトロール
10/14	建災防静岡支部大会
12/ 2	合同安全パトロール
2/ 3	合同安全パトロール
3/下	臨時総会

山の シーフード その2

春野町で五千匹の チョウザメを養殖中

高級食材のキャビアが採れるチョウザメが、春野町の山奥で養殖されていることをご存じですか。

医療用カテーテル等のメーカーである金子コードさんが、新たな産業の可能性を追求し、2014年12月に気田川漁協養殖池で稚魚千匹の養殖を開始したもので、6～7年後には、世界一おいしい「春野産キャビア」の出荷を目指しているとのこと。

詳細は、静岡県建設業協会ホームページに掲載の広報誌「わが街ウォッチング」をご覧ください。

かんとくさん

浜松市産業部林業振興課
天竜森林事業所



小出 常正
こいで つねまさ

今年度から浜松市産業部林業振興課・天竜森林事務所に新規採用職員として配属となりました。

社会人として勤務するのは初めてであり、技術職員としての経験もないため、日々の

業務で戸惑うことが多く、職場の先輩方に頼ってばかりです。

天竜区はとても広く自然に恵まれている反面、災害等の発生率も高いと感じています。そのため、災害等を考慮した現場の判断が求められるので、多くの経験を積み、技術を磨いていきたいと思っています。林道は、国道や市道とは違い林業に携わる方が主に利用するため、その違いを理解しながら業務を行っていきたいと考えています。

まだまだ至らない点も多々ありますが、現場での経験を活かし成長していきたいと思っていますのでよろしくお願いします。

建設ギャラリー

工 事 名 平成27年度 市単独過疎対策道路整備事業
(市) 水窪駅向島線道路改良工事

工 事 場 所 浜松市天竜区水窪町地頭方地内

発 注 者 浜松市長(天竜土木整備事務所)

施 工 者 株式会社 マルチ

工 事 概 要 道路改良15.4m
軽量盛土工(ウレタン発泡工) 166.0㎡
舗装工事 A=62.0㎡
防護柵工(ガードレール工) L=21.0m
区画線工(ゼブラ) L=20.0m



施工前 (H27.10.20)



施工後 (H28.3.10)

本工事は延長L=15.4mの道路改良工事です。軽量盛土工による既設道路の拡張工事でした。施工では、市道水窪駅向島線を時間帯通行止め(12月1日～2月10日)にし、削孔・支柱の建込等利用させてもらい、ありがとうございました。地元の皆様には大変ご迷惑をお掛けしましたが、幸い事故もなく終わることができたのは、地元のご理解とご協力によるものだと思っています。

平成28年度 県優良工事等表彰受賞者

8月1日に県優良工事等所長表彰式があり、浜松土木10件中6件、西部農林9件中5件を当協会員が受賞しました。

県浜松土木事務所長表彰受賞者

部門	受賞者	工 事 名
優良工事	天龍土建工業(株)	平成26年度門島特定緊急地滑り対策工事(法面工4工区)
優良工事	(株)天竜アキヤマ	平成27年度両島棚久保急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工)
優良技術者	川合 孝明 (天龍土建工業(株))	平成27年度大谷急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工)
優良技術者	宮崎 敏 (株)石川組	平成26年度両島瀬林C急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工)
地域貢献	(株)森下組	平成27年度大谷NO2急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工)
地域貢献	(株)正久工業	平成27年度仇山急傾斜地崩壊対策工事(擁壁工・その2)

～浜松土木事務所鈴木天竜支局長から～

天竜建設業協会会員から多くの受賞者が出たことは、天竜支局としても大変心強いです。おめでとうございます。今後とも、より良い工事の実施をお願いします。

県西部農林事務所長表彰受賞者

部門	受賞者	工 事 名
優良工事	天龍土建工業(株)	平成26年度治山(緊急地すべり)下里1工事
優良技術者	大谷 辰巳 (株)神谷土木	平成27年度治山(水源再生)宮ノ平工事
優良技術者	沢路 明宏 (株)西村組	平成27年度治山(予防)向沢工事
優良技術者	中根 斉 (株)神田組	平成27年度山村道路網整備観音山1線1工区
地域貢献	エフ・正光建設(株)	平成26年度治山(復旧)イドボラ(25ゼロ債)工事

～西部農林事務所関部天竜農林局長から～

受賞されました皆様、誠におめでとうございます。また昨年度は、西部農林事務所発注の工事につきまして、事故「ゼロ」達成、誠にありがとうございました。今後とも、安全で品質に優れ、地域に喜ばれる工事の施工に努めてください。

こんにちは。磐田信用金庫二俣支店の鈴木大河です。いつも二俣支店をご利用いただき、ありがとうございます。

私は、今年の4月から営業係を担当しております。私の生まれ育った天竜区二俣町は人々の絆が強く、地域行事等が行われる時は、町を



磐田信用金庫二俣支店
営業係 鈴木 大河

あけて地域発展のために取組む町です。私が営業活動をしている時も二俣町のお客様は笑顔で挨拶をしてくださり、とても気持ちよく仕事をさせていただいております。

このような環境の中、私が安全、安心して営業活動が出来るのも、協会の方々が道路沿いの雑草を刈り取り、道路の見通しを良くしてくださっているからだ感謝しています。

磐田信用金庫二俣支店では、職員一同、地域の皆様のため、地域全体の発展のために毎日汗を流して活動しております。今後とも、皆様にご利用していただけたらと思います。ぜひ、皆様のご来店をお待ちしております。

私の家族は、夫・直人、長男・晴希（はるき）、次男・ひかると私の四大家族です。

主人は森林組合に勤めており、毎日山の中心へ入ります。動物に会うこともあるようです。子供たちが小さい頃、カブト虫をとってきてくれたりしました。山の中に入っていくことはとても大変なようです。ケガだけはしないようにと思っています。

長男の晴希は高校一年生です。高校までは一時間程かかりますが、元気に通っています。中学から続けている陸上（長距離）を高校生



春野建設事業協同組合
高矢 愛

になった今も続けて頑張っています。夏休みには陸上の練習と合宿でほとんど家にいません。一生懸命取り組んでいます。身長もぐんぐん伸び、筋肉もついてきているのできつともっと速く走れるようになると願っています。

次男のひかるは中学二年生です。ひかるも兄と同じように陸上（長距離）を頑張っています。ひかるはとても努力家で、ひとりきりでも朝早く学校へ行ってグラウンドを走っています。その努力は少しずつですがタイムに表れてきています。

今は二人ともそれぞれ足を故障しているのですが、お風呂の後のストレッチが、毎日の日課になっています。

走ることが楽しいと感じている二人。ケガとうまくつき合いながら好きな陸上を頑張っていると思います。

まだまだ成長期の晴希とひかる。これからどんな大人になっていくのか私たち夫婦としても楽しみにしています。

将来を見据えた選択肢

建退共

安心
Relieved

不安・心配
Anxiety & Worry

建退共



建退共は建設現場で働く労働者のための退職金制度です。

建設業界の皆様へ

10月は加入促進強化月間です

建退共への加入のおすすめ

福祉の増進と企業の振興のための国の退職金制度です

- 17万建設事業所が加入、314万人の建設現場の就業者が退職金支給対象となっています。
- これまでに累計で229万件、1兆6、467億円の退職金をお支払いしています。（平成29年7月現在）

建設工事の第一線で働く優秀な人材確保にも寄与！

- 特長**
- ◎法律に基づき運営される国が作った制度
 - ◎複数の企業間で就業しても通算して退職金を支給
 - ◎掛金は全額非課税
（損金または必要経費に算入できます）
 - ◎建退共加入は「経営事項審査」で加点評価
 - ◎国からの財政上の支援
（国の助成により掛金の一部が免除）

こんなに有利

掛金納付年数	掛金総額	退職金額
30年	234万円	390万円
25年	195万円	302万円
20年	156万円	225万円
15年	117万円	157万円
10年	78万円	94万円

- 加入できる事業主
建設業を営む事業主

- 対象となる労働者
建設業の現場で働く方

- 掛金は一日310円
（加入労働者ひとり）

お申込・お問合せ

独立行政法人勤労者退職金共済機構 建退共静岡県支部

〒420-0857静岡県葵区御幸町9-9 TEL054-255-6846

建退共本部のホームページをぜひ、ごらん下さい

建退共

検索